

第四十八回

# 全日本杖道大会



## 日時

令和3年10月17日(日) 午前9時15分 開会

## 会場

名古屋市中村スポーツセンター

主催：公益財団法人 全日本剣道連盟

主管：一般財団法人 愛知県剣道連盟

# 剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

## 剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び  
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い  
剣道の特性を通じて礼節をとようとび  
信義を重んじ誠を尽して  
常に自己の修養に努め  
以って国家社会を愛して  
広く人類の平和繁栄に  
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定  
全日本剣道連盟

## 剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定  
全日本剣道連盟

# 挨拶

公益財団法人 全日本剣道連盟  
会長 稲川 泰弘



さわやかな秋空の下、全国から精鋭選手を迎え第48回全日本杖道大会が、ここ愛知県中村スポーツセンターにおいて開催されるに当たり、ご挨拶申し上げます。コロナ禍ではございますが、皆さまのご協力により大会が開催できますことに深く感謝申し上げます。

杖道は、今から約400年前に夢想権之助が筑前の宝満山に参籠し、神意を受けて神道夢想流杖術として創始したものと云われております。杖は、打つときは刀となり、突くときは槍となり、また払うときは薙刀となる、千変万化の動きを特色とし、武術の粋が取り入れられているといわれ、その理合は現代剣道に通じるところが多く、杖道の普及発展は誠に意義あるものといわねばなりません。

全剣連では昭和43年、神道夢想流杖道形のうち、12本を選んで全剣連杖道形を制定しました。更に、平成15年には、全日本剣道連盟杖道の解説書を大幅に改訂し、理解し易いものいたしました。全剣連は杖道の普及振興のため、中央講習会をはじめ、地区講習会を開催しており、稽古会も各地で開催され、益々盛況を呈しております。

杖道人口を見ますと、コロナ禍ではありますが、昨年1年間で172名の方が初段に合格されております。厳しい状況ではございますが、有段者が増加することを期待しております。

本大会は、杖道初段より杖道七段の段別試合のほか、個人演武も実施されますが、全日本大会に相応しい内容にするためには更なる発展を期したいと思います。

選手各位は日ごろの鍛錬の成果を競い合い、体得した技倆と気魄を発揮されると共に、この大会が、各地より参集された選手各位の親睦を深める場ともなり、杖道のより一層の発展に寄与するものとなることを希望します。

終わりに、本大会の開催に当たり主管の愛知県剣道連盟をはじめ多くの運営に当たられる関係各位に対し、心から感謝の意を表し挨拶いたします。

# 挨拶

一般財団法人 愛知県剣道連盟  
会長 大嶽 將文



本日、ここ名古屋市中村スポーツセンターにおいて、第48回全日本杖道大会が盛大に開催されますことを大変喜ばしく、愛知県を代表して心より歓迎を申し上げます。

昨年10月に開催される予定でしたが、ご存知の通り新型コロナウイルス感染の影響で延期となり、予定されていた大会が中止や延期が相次ぎ、未だ感染が終息しない厳しい状況の中ではありますが、感染防止対策を万全にして、本日ここに大会を開催することができました。

ご存知の通り杖道は、江戸時代の初め宮本武蔵に勝利したとも言われている夢想権之助によって創始された神道夢想流が起源であり、昭和31年に全日本剣道連盟に加入、その後、全日本剣道連盟杖道として発足し、昭和49年に第1回全日本杖道大会が開催されました。

本日は48回を数える歴史ある大会となり、選手の皆さんにはこのコロナ禍で十分な稽古ができない中ですが、各都道府県の代表として自信と誇りを持って、杖道日本一を目指して頑張ってください。

終わりに、本大会の開催にあたり、協力をいただきました関係各位の皆様方に深く感謝を申し上げます挨拶といたします。

# 杖道とは

## ◎杖道とは・・・。

杖道は古来から伝わる武道のひとつです。長さ128センチ、直径2.4センチの白樫の丸い棒(杖)を武器とし、打ち掛かる太刀を相手に「突かば槍、払えば薙刀、持たば太刀、杖はかくにもはずれざりけり」と伝書にもありますように、太刀、槍、薙刀の技に独自の動きを加味した誠に玄妙多彩な武道です。見た目には只の杖に過ぎませんが、正面はもとより左右から繰り出す杖先の一撃には予測を超えた鋭さが秘められています。

杖道の稽古では、紺または白の剣道着および袴を着用しますが防具は一切使用しません。そのため普段の稽古は立合の形だけで行います。打ち込んでくる太刀を捌き、すかさず杖で太刀の動きを制するというもので、形稽古とはいえ真剣勝負に近い稽古方法といえます。

## ◎全剣連杖道の起源は・・・。

私たちが日頃練習している杖道は、全日本剣道連盟が制定した基本12本と立合の形12本です。杖道が全剣連に加盟したのは昭和31年(1956年)のことですが、その後12年間の研究期間を経て昭和43年(1968年)に全剣連制定杖道が誕生しました。さらに平成13年(2001年)から2年間にわたって指導上の留意点を付記した本格的な見直し作業を行い平成15年(2003年)に改訂版が完成しました。その後、一部修正を行い、平成20年6月に現在の全剣連杖道(解説)となっております。

全剣連杖道の原形は、約四百年前に夢想権之助勝吉という人によって創始された神道夢想流杖術です。夢想権之助は剣の達人でしたが、あるとき宮本武蔵と試合をして敗れたため、武蔵を破るべく筑前太宰府の宝満山に籠って創意工夫の結果編み出したのが、神道夢想流杖術です。口承では杖をもって武蔵の十字留を破ったともいわれています。神道夢想流杖術は明治になるまで福岡を中心に継承されてきましたが、昭和5年(1930年)に清水隆次先生が福岡から上京、翌6年警視庁の武道講師(嘱託)となり、その後昭和31年に全剣連に加入、現在の全国的普及の礎をつくりました。

## ◎杖道の試合・・・。

本大会では、初段から7段まで段別に指定された全剣連杖道の立合の形6本を演武します。試合は打太刀と仕杖がペアを組み、紅白2組のペアが演武を競い合います。どちらの組が優れているかの判定は杖道試合審判規則・同細則によりますが、初段から3段までは礼法・着装はもとより解説書に則した正しい姿勢と正確な打突、充実した氣勢と気迫の籠った気合、目付け、残心などが勝敗のポイントになります。4、5段クラスになりますと、さらに錬熟度が求められます。正確な切り付けと刃筋、間と間合、杖の用法、気・杖(剣)・体の一致など打太刀の技倆と仕杖の技前が相対的に判断されることになります。6、7段ともなると、一挙手一投足が武道としての合理性を備え、理合に適った攻防が演武の形を離れて真剣勝負を彷彿させるだけの迫力を有することが大切とされます。云い換えれば、いかに一瞬一瞬に己れの全身全霊を尽くすかということが大切なわけです。

# 大会次第

## ◇開会式

9:15～9:45

1. 役員・選手整列
2. 国歌斉唱
3. 会長挨拶
4. 閉式

## ◇演技

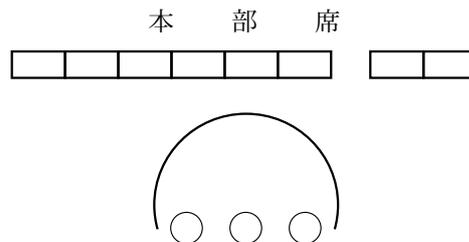
9:55～13:34予定

1. 初段～七段の部 一回戦から準決勝
2. 昼食 (11:56～12:36予定)

### 各段試合順序および試合場

第二試合場	初段	5～8	第四試合場	三段	1～13
	四段	9～16		五段	13～16
	五段	5～8		六段	8～13
	七段	7～12			
第一試合場	初段	1～4	第三試合場	二段	1～11
	四段	1～8		五段	9～12
	五段	1～4		六段	1～7
	七段	1～6			

(注) 1 初・二・三・四・六・七段の準決勝は、各試合場で実施  
五段の準決勝は、第一試合場と第三試合場で実施



3. 個人演武 (全剣連杖道の部12:40開始予定)
4. 個人演武 (古流の部12:40開始予定)
5. 四・五・六・七段決勝 (13:10開始予定)

## ◇閉会式

13:55～14:15予定

1. 役員・選手集合
2. 表彰
3. 挨拶
4. 役員・選手退場

# 大 会 役 員 (敬称略、順不同)

令和3年9月17日現在

大会会長	稲川泰弘																				
大会副会長	網代忠宏	真砂	威	神谷明文	大嶽將文																
大会顧問	伊藤元明 福本修二 小坂達明 鈴木康一 三宅志	上田憲 小倉屋光 椎田琇 中田大 目黒	幸昇 勇士作	奥島 忍野 島藤 宮坂	快男 泰功 昌稔 之	児島 梯末 平川 末宮 坂														克治二俊之 正佑英信	
大会参与	増田知幸 長谷川弘一 山南茂信 吉村文修 伊吹野徹 河野島良 岸俊川光 江親並	安小牧 小堤長 山尾藤 松山白	部倉林 田榮本 方川尾 本井	美智雄 培英稔 俊周晋 正和博 允孝	雄夫 稔彦 作郎 照秋 行園一	小笠原 白石邊 片岡山 岡吉田 林高木 橋口部 安松本	宏正 宏外一 克正弘 光正健	志範 一一 義法 夫伸博 定一郎	井小 浅加中 世中三 青俣安	上林 原瀨 野耕西 原柳木 部	雅一行 浩正弘 悦俊 正秀	勝隆 雄明 堂成 章男彦 喜利									
大会委員長	中谷行道																				
大会副委員長	黒郷源慈																				
大会委員	上篠 藤青 栗相 山安	浦原 山崎 馬村 保	か 政崇 彩敬 建勝 洋	え 美郎 子一 男弘 子	軽内 舟安 榊千 吉小	米藤 木部 葉田 風	満常 壽寿 胤博	世男 隆和 一道 光明	香長 蒔岡 寫奈 脇吉	田尾 田嶋 末良 本田	郡秀 幸篤	秀進 実恒 一隆 彦生	佐濱 水加 下濱 渡	藤崎 田藤 川口 邊	厚重 祐雅 三	子滿 則治 造行 則					
実行委員長	祝要司																				
実行副委員長	伊藤国博	青木孝		高沢彰	松原徹																
実行委員	小斎丹	林藤羽	晋一諒 正則	加松畠	古浦山 千隆	恵恵吉		高東平	橋井道	嶺良典			長尾内	濱野田	直博信	弥之之					

## 第48回 全日本杖道大会審判団

審判長 椎屋光男

第一試合場 審判主任 森本訓史

安丸進 本田保 江藤友子  
(北海道) (広島) (福岡)

上田花代子 安田嘉一 阿部修  
(埼玉) (神奈川) (東京)

第二試合場 審判主任 藤崎興朗

大竹俊行 福田博文 安部恵一  
(神奈川) (福岡) (神奈川)

清水勇二 坂上亨 力武公平  
(東京) (大阪) (東京)

第三試合場 審判主任 釣賀敏郎

村上直隆 神之蘭文男 椿二三夫  
(宮城) (神奈川) (東京)

東浜秋雄 太田安昭 鬼木正道  
(東京) (長野) (福岡)

第四試合場 審判主任 神代孝一

村上和雄 林映子 森井美津男  
(和歌山) (神奈川) (東京)

松村勇造 小野景久 服部知司  
(兵庫) (長野) (大阪)

## 競 技 係 員

本 部 係	主 任	前 田 新 吾	
放 送 係		田 中 勝 明	木 谷 佳 恵
賞状係(揮毫)		山 田 政 晴	
救 護 係		大 仲 良 仁	
大会記録係		黒 川 泰 彦	
受 付 係	主 任	山 口 照 義 東 今 道 朱 恵 美 子	山 崎 広 子 橘 仁 美 和 田 布美子 松 田 麻希子
接 待 係		河 西 優 子	久 保 美栄子 内 山 晃 子
第一会場係	主 任	富 田 隆 三 柴 田 久 三	手 嶋 道 雄 井 出 清 昭
第二会場係	主 任	小 島 六 男 中 西 幸 男	牧 野 孝 夫 松 井 忠 博
第三会場係	主 任	杉 浦 勝 之 小 野 浩 太 郎	福 島 徹 哉 丹 羽 良 平
第四会場係	主 任	小 崎 順 一 河 合 伸 治	溝 口 夏 樹 野 村 卓 也

# 大会要項抜粋

## 1. 趣旨

全日本剣道連盟杖道の普及徹底を期すため、日頃の稽古の成果を競い合う大会であり、体得した技倆と気魄を助長させることにある。また各地より参集した選手の親睦を深める場とし、もって斯道のより一層の発展を期すものである。

## 2. 出場選手資格

### (1) 段別個人試合出場者

ア 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している者。

イ 本連盟杖道初段、二段、三段、四段、五段、六段、七段受有者であること。ただし、審判員に選ばれた者は、出場できない。

ウ 男子、女子、年齢、職業の制限を設けない。

### (2) 個人演武出場者(全剣連杖道の部)

各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している者。本連盟の杖道錬士六段以上の者。

\* 段別個人試合および個人演武の両方に参加することができる。ただし、古流の個人演武との重複申し込みはできない。

### (3) 個人演武出場者(古流の部)

各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している者。本連盟の杖道錬士六段以上の者。

\* 段別個人試合および個人演武の両方に参加することができる。ただし、全剣連杖道の個人演武との重複申し込みはできない。

## 3. 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟、杖道試合・審判規則と同細則、および別紙大会要領により行う。

(2) 初段、二段、三段、四段、五段、六段、七段の7種に分け、段別個人試合(2人1組)を行う。

(3) 試合は、トーナメント方式により行う。

## 4. 表彰

(1) 初段、二段、三段の上位2組に対し、優秀賞を授与する。

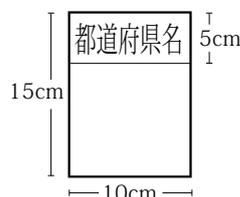
(2) 四段、五段、六段、七段の1位、2位に対し、賞状および賞品を授与する。

(3) 出場者に参加賞を贈る。

## 5. その他

(1) 段別個人試合および個人演武出場者は、登録の都道府県名および姓を明記した名札を左胸部に付けること。

凡例



黒または紺色の剣道着の場合は、黒または紺色の布地に白字とし、白色の剣道着の場合は、白地に黒字とする。

(2) 当日の申込み受付は行わない。

# 全日本杖道大会要領

## 1. 試合方法

(1) あらかじめ2人1組を抽選により、トーナメント方式にて、初段・二段・三段の部は準決勝まで行い、四段・五段・六段・七段の部は1位、2位を決める。

(2) 判定は仕・打交代して勝敗を決める。

(3) 2人1組の選手は、同段位とする。

## 2. 演武の本数と指定技

### (1) 段別個人試合

演武本数は、各段位とも6本とし、指定技は下記のとおりとする。

初段の部 ①着 杖 ②水 月 ③引 提

④斜 面 ⑤左 貫 ⑥物 見

二段の部 ①水 月 ②引 提 ③斜 面

④左 貫 ⑤物 見 ⑥霞

三段の部 ①引 提 ②斜 面 ③左 貫

④物 見 ⑤霞 ⑥太刀落

四段の部 ①斜 面 ②左 貫 ③物 見

④霞 ⑤太刀落 ⑥雷 打

五段の部 ①左 貫 ②物 見 ③霞

④太刀落 ⑤雷 打 ⑥正 眼

六段の部 ①物 見 ②霞 ③太刀落

④雷 打 ⑤正 眼 ⑥乱 留

七段の部 ①霞 ②太刀落 ③雷 打

④正 眼 ⑤乱 留 ⑥乱 合

\* 初段・二段・三段の部は、決勝戦を行わない。

\* 演武は、① ② ③ ④ ⑤ ⑥の順に行い、前半3本で「仕・打」交代し、後半3本を行う。

### (2) 個人演武(全剣連杖道の部)

演武本数は、六・七・八段とも5本とし、仕・打交代せず指定技は下記のとおりとする。

共 通 ①太刀落 ②雷 打 ③正 眼

④乱 留 ⑤乱 合

### (3) 個人演武(古流の部)

演武本数は、六・七・八段とも5本とし、技は任意とする。

## 3. 審判方法

(1) 審判員は、3名を以って構成する。

(2) 勝敗は、3名の審判員の多数決による。

(3) 全剣連杖道「審判上の着眼点」による。

(4) 主審は、試合者が開始線の位置についてた時、「始め」と宣告して試合を開始させる。

(5) 試合の終了と同時に、審判員は起立し、主審の「判定」の合図により、三者同時に意思表示する。

(6) 主審は、「赤(白)の勝ち……勝負あり」と宣告する。

## 4. 服 装

(1) 審判員は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に付けること。

(2) 段別個人試合および個人演武出場者は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に名札を付けること。

以 上

# 第48回 全日本杖道大会成績表

令和3年10月17日(日) 於:中村スポーツセンター

## 【初段の部】 優秀賞2組

----- ( )                      ----- ( )

## 【二段の部】 優秀賞2組

----- ( )                      ----- ( )

## 【三段の部】 優秀賞2組

----- ( )                      ----- ( )

## 【四段の部】

第1位

----- ( )

第2位

----- ( )

## 【五段の部】

第1位

----- ( )

第2位

----- ( )

## 【六段の部】

第1位

----- ( )

第2位

----- ( )

## 【七段の部】

第1位

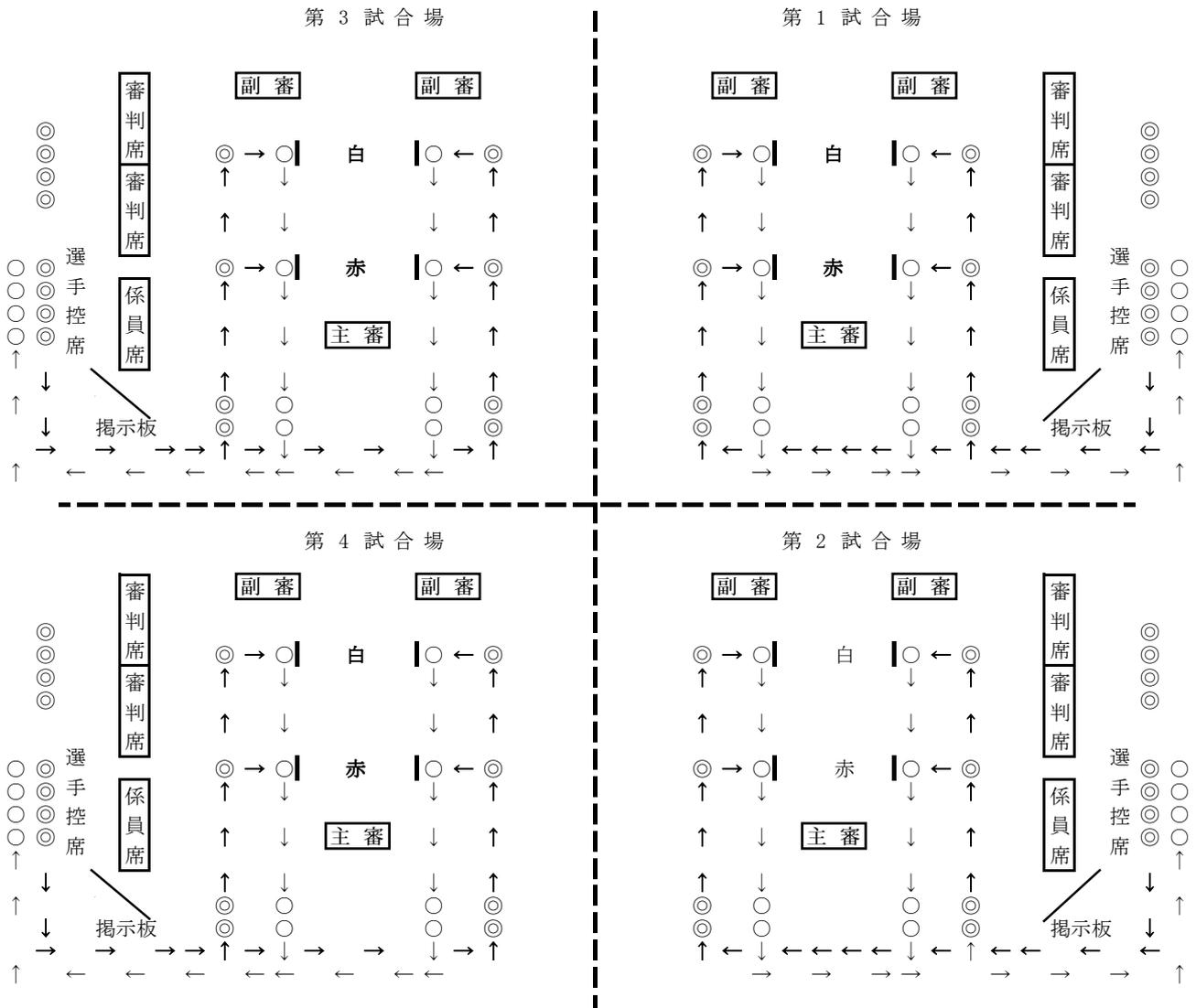
----- ( )

第2位

----- ( )

# 全日本杖道大会における試合者の入退場要領図式

## 大会役員・審判長席



- 印は、終了した試合者。 ◎印は、次の試合者。
- 次の試合者は、氏名および赤・白の標識確認等を係員席で行い、前の試合終了間際に係員の指示により赤・白ともに試合場の主審側後ろ、開始線後方、約1メートルに位置する。
- 主審の、「赤(白)の勝ち・・・勝負あり」の宣告と同時に、  
【終了した試合者】は、赤・白ともに、開始線より主審の方向に向きを変え直進し、試合場を出た所で、係員席の位置まで移動する。  
【次の試合者】は、赤・白ともに、開始線より約1メートル後方に位置した所より、終了した試合者の退場とともに入場し、開始線に位置する。
- 試合者は、試合の開始前と終了後には、選手控席において相互の座礼(待機場が狭いときは立礼)を行う。

## 大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事(以下「大会等」という。)における写真・動画の撮影及び音声の録音(以下「ビデオ撮影等」という。)並びに撮影した映像及び録音した音声(以下「撮影映像等」という。)の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

### MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

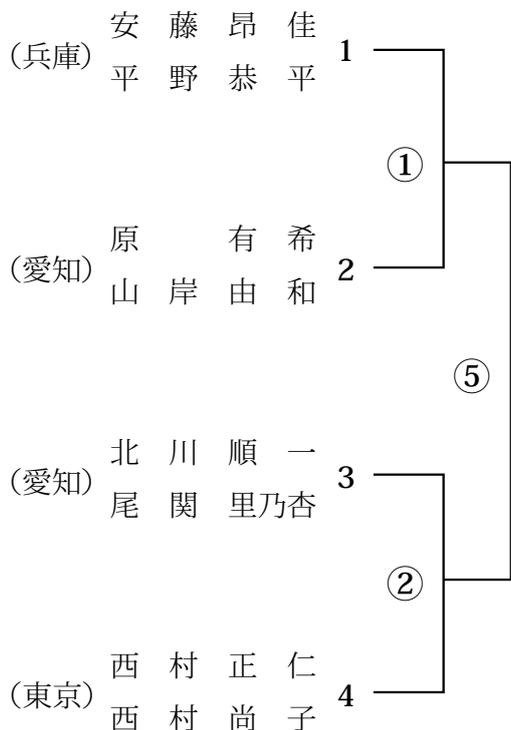
.....

.....

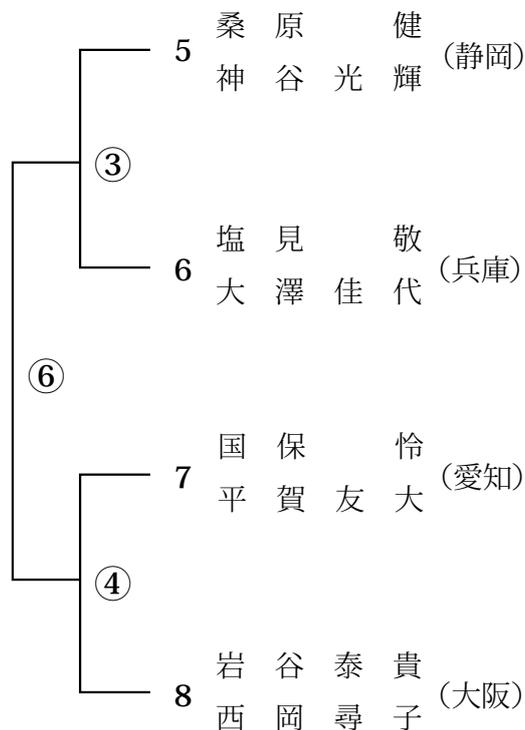
.....

# 全日本杖道大会組合せ (初段の部)

## 第1試合場

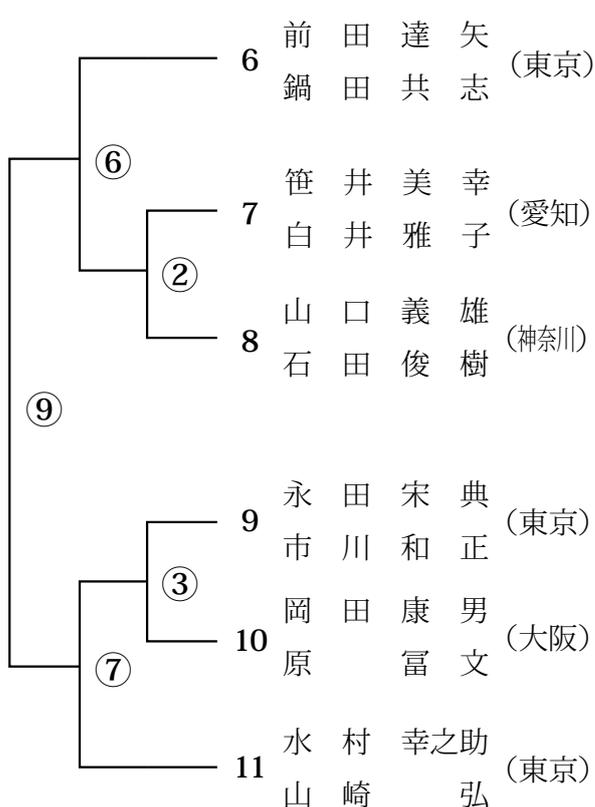
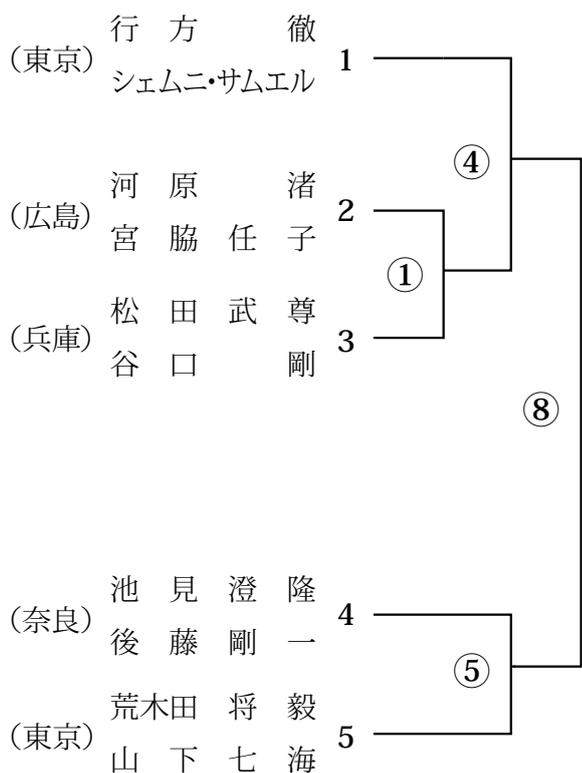


## 第3試合場



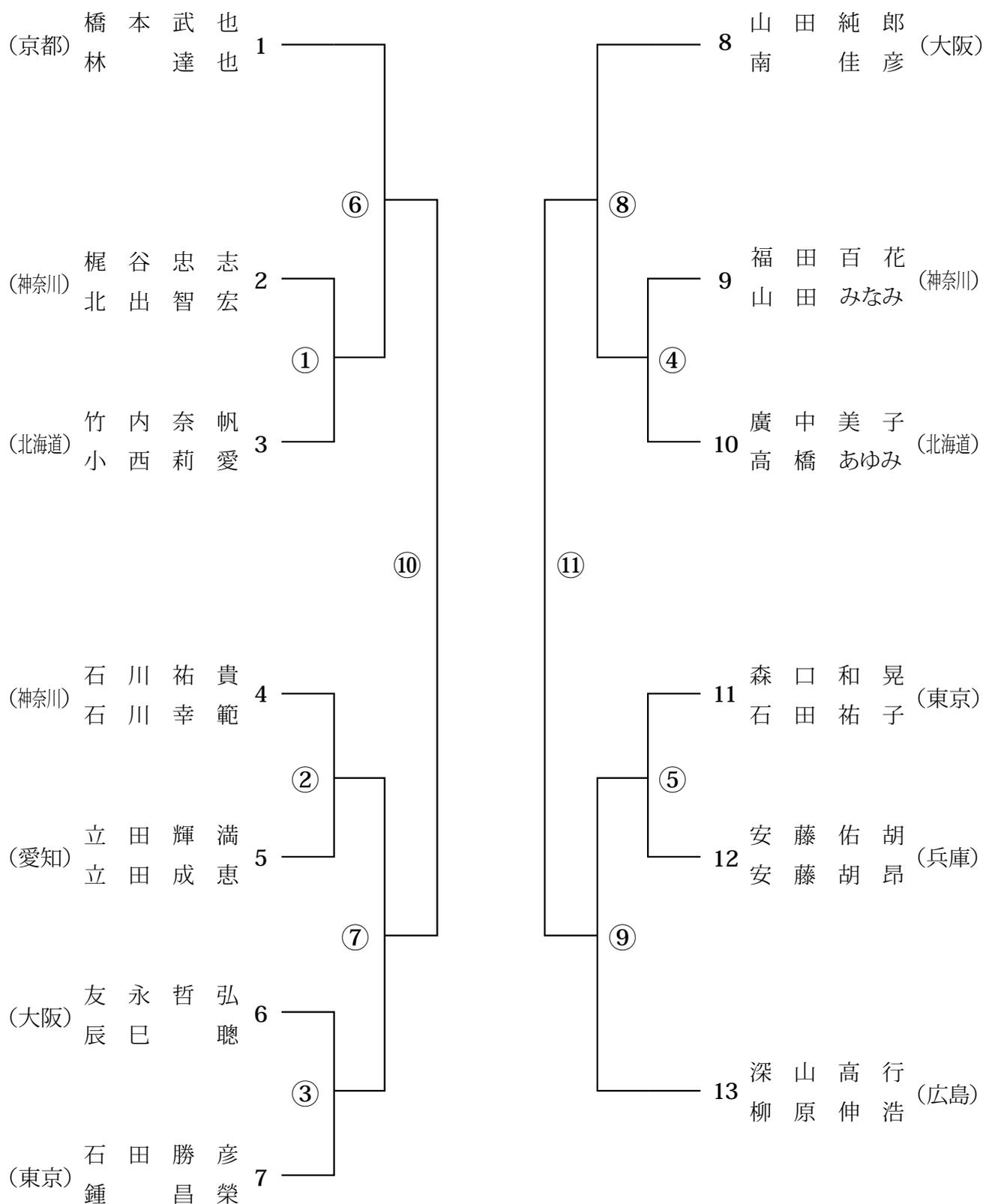
# 全日本杖道大会組合せ (二段の部)

## 第3試合場



# 全日本杖道大会組合せ (三段の部)

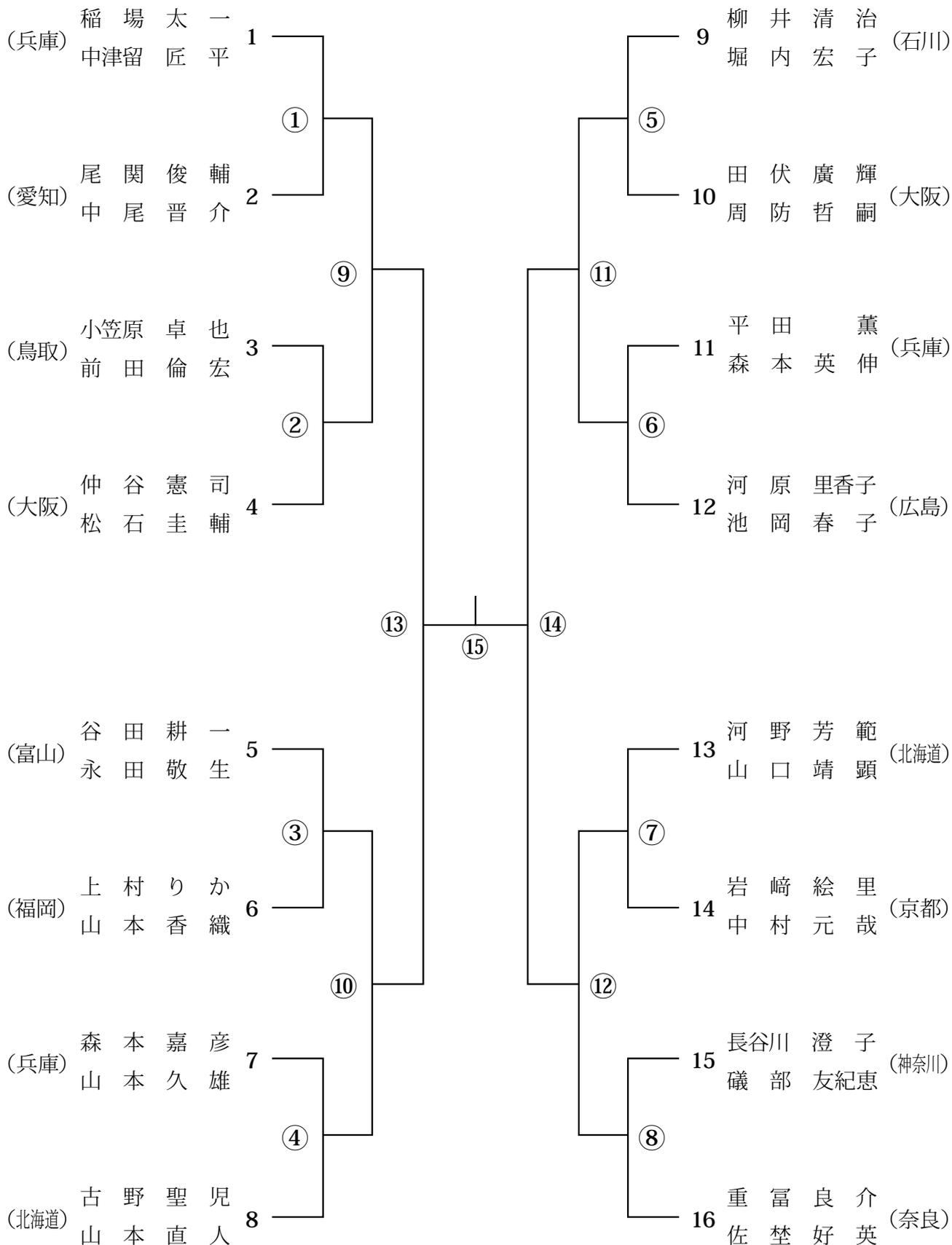
## 第4試合場



# 全日本杖道大会組合せ (四段の部)

## 第1試合場

## 第2試合場



# 全日本杖道大会組合せ (五段の部)

## 第1試合場

(岡山) 福永正博 1  
田戸康紀

(愛知) 高木茂 2  
野呂せつ子

(富山) 宇枝貞洋 3  
尾崎浩和

(神奈川) 森島康文 4  
矢崎貴紀

## 第3試合場

9 佐々木浩史 (宮城)  
藤本誠司

10 細沼哲也 (北海道)  
高木誠

11 石丸聖也 (愛知)  
中西勝則

12 清水裕子 (神奈川)  
南敦也

## 第2試合場

(茨城) 田中公明 5  
西山和位

(愛知) 山梨浩樹 6  
戸谷高

(宮城) 高橋清一 7  
鈴木宏明

(京都) 高田美恵 8  
中川恵拓

## 第4試合場

13 高田松典 (静岡)  
辻洋樹

14 橋本将朋 (東京)  
田村のり子

15 鈴木友真 (兵庫)  
安藤光春

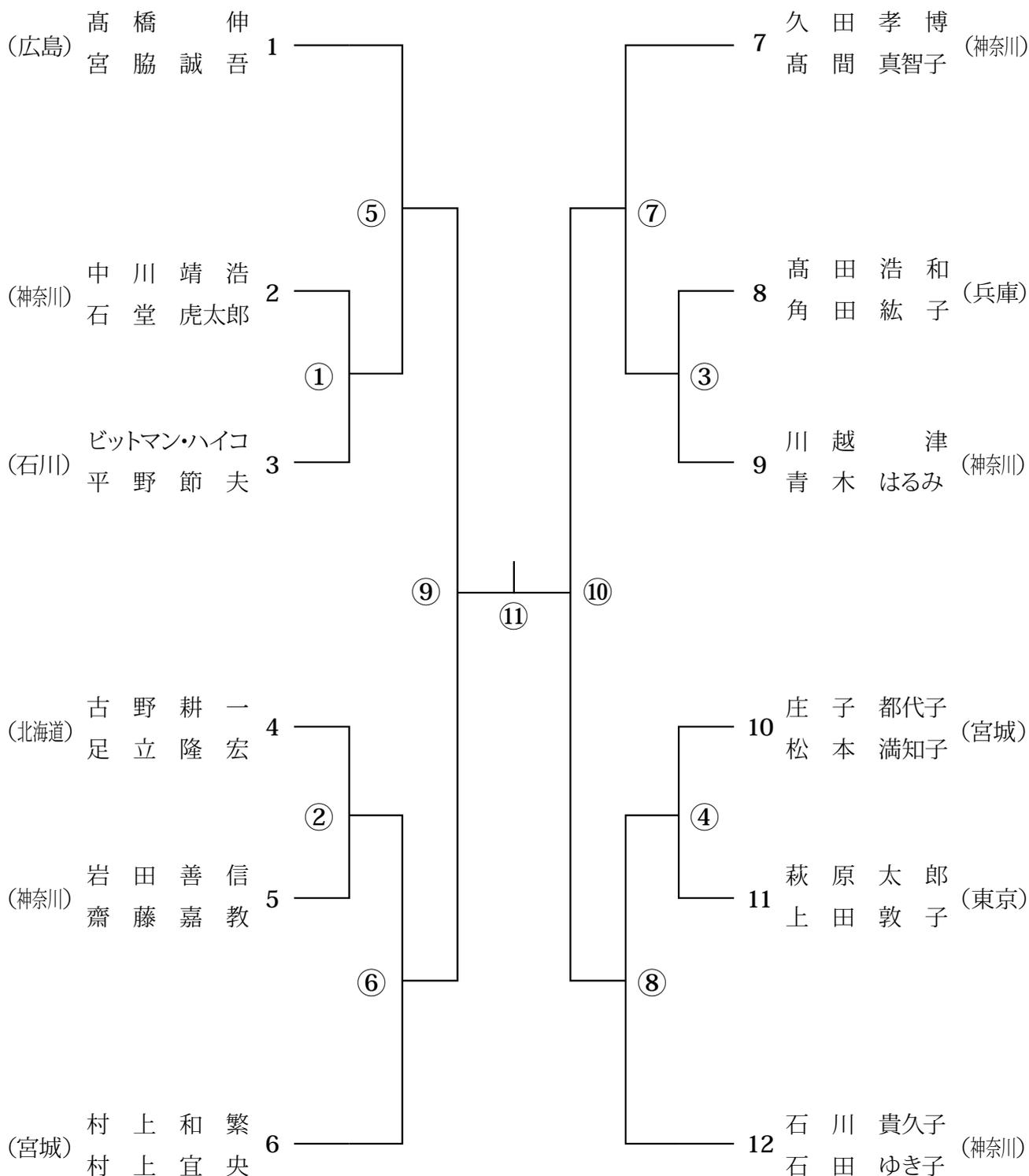
16 松本親昌 (高知)  
宮地賀代



# 全日本杖道大会組合せ (七段の部)

## 第1試合場

## 第2試合場



## 個人演武者（全剣連杖道の部）

		「打」				「仕」			
1	A組	錬士六段	狐塚理沙	(宮城)	—	錬士六段	馬場威夫	(大阪)	
2	B組	錬士六段	森英敏	(福岡)	—	錬士六段	永井祥宏	(東京)	
3	A組	錬士七段	藤井喜代子	(京都)	—	錬士七段	松本満知子	(宮城)	
4	B組	教士七段	齋藤嘉教	(神奈川)	—	錬士七段	村上宜央	(宮城)	
5	A組	教士七段	足立隆宏	(北海道)	—	教士七段	宮脇誠吾	(広島)	
6	B組	教士七段	小島六男	(愛知)	—	教士七段	村上和繁	(宮城)	
7	A組	教士七段	木村通男	(兵庫)	—	教士七段	前田新吾	(愛知)	
8	B組	教士七段	上田敦子	(東京)	—	教士七段	庄子都代子	(宮城)	
9	A組	教士七段	伊藤健司	(静岡)	—	教士七段	松川岳央	(東京)	
10	B組	教士七段	富田隆	(愛知)	—	教士七段	平木茂	(東京)	
11	A組	教士七段	萩原太郎	(東京)	—				
12	B組	教士八段	力武公平	(東京)	—	教士八段	服部知司	(大阪)	
13	A組	教士八段	阿部修	(東京)	—	教士八段	鬼木正道	(福岡)	
14	B組	教士八段	清水勇二	(東京)	—	教士八段	太田安昭	(長野)	
15	A組	教士八段	坂上亨	(大阪)	—	教士八段	松村勇造	(兵庫)	
16	B組	教士八段	東浜秋雄	(東京)	—	教士八段	小野景久	(長野)	
17	A組	教士八段	森井美津男	(東京)	—	教士八段	上田花代子	(埼玉)	
18	B組	教士八段	江藤友子	(福岡)	—	教士八段	庄司敬一	(宮城)	
19	A組	教士八段	村上和雄	(和歌山)	—	教士八段	本田保	(広島)	
20	B組	範士八段	神代孝一	(福岡)	—	教士八段	福田博文	(福岡)	
21	A組	範士八段	安丸進	(北海道)	—	範士八段	村上直隆	(宮城)	
22	B組	範士八段	藤崎興朗	(東京)	—	範士八段	大竹俊行	(神奈川)	
23	A組	範士八段	森本訓史	(大阪)	—	範士八段	釣賀敏郎	(東京)	

## 個人演武者（古流の部）

		「打」				「仕」			
1	A組	教士八段	安田嘉一	(神奈川)	—	教士七段	時任晴美	(神奈川)	
2	B組	教士八段	林映子	(神奈川)	—	教士七段	岩田善信	(神奈川)	
3	A組	教士八段	神之藪文男	(神奈川)	—	教士八段	小塚禮子	(神奈川)	
4	B組	教士八段	安部恵一	(神奈川)	—	教士八段	椿二三夫	(東京)	

## 過去の記録

回数	期日・場所	第 一 位
第1回	昭和49年8月4日(日) 芝学園 (東京都)	[五段の部] 山下 貞利・織方 章 組 <福岡> [四段の部] 大里 耕平・奥野 堯昭 組 <東京> [三段の部] 井端 満・佐藤 成孝 組 <大阪> [二段の部] 広瀬 淳・初田 幸助 組 <東京> [初段以下] 安宅 文子・金子 英子 組 <東京>
第2回	昭和50年8月3日(日) 早稲田大学記念会堂 (東京都)	[五段の部] 古川 瞬也・小林 勇彦 組 <東京> [四段の部] 荒井 洋・椎屋 光男 組 <東京> [三段の部] 生田 正治・森 忠義 組 <東京> [二段の部] 安宅 文子・原 紹子 組 <東京> [初段以下] 池原 一義・石河 和彦 組 <大阪>
第3回	昭和51年7月25日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 古川 瞬也・荒井 洋 組 <東京> [四段の部] 黒郷 源慈・内藤 五雄 組 <東京> [三段の部] 山口 薫・大竹 俊行 組 <神奈川> [二段の部] 福田 健・高橋 公 組 <東京> [初段以下] 田中 晶子・大草 早苗 組 <東京>
第4回	昭和52年7月31日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 大里 耕平・清水 勇二 組 <東京> [四段の部] 片山 伸一・柞山 茂克 組 <東京> [三段の部] 原 紹子・羽石智恵子 組 <東京> [二段の部] 和田 文雄・小林 勝義 組 <東京> [初段以下] 一関 祐子・田村 英路 組 <東京>
第5回	昭和53年7月30日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 内藤 五雄・大里 耕平 組 <東京> [四段の部] 黒郷 源慈・山口 高治 組 <東京> [三段の部] 江澤 義信・阿部 修 組 <東京> [二段の部] 藤崎 興朗・一関 祐子 組 <東京> [初段以下] 庄司 敬一・砂金 博之 組 <宮城>
第6回	昭和54年7月29日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 片山 伸一・斎藤 勝彦 組 <東京> [四段の部] 江澤 義信・阿部 修 組 <東京> [三段の部] 篠原 保・小林 幹正 組 <東京> [二段の部] 河崎 清二・矢野 良 組 <愛媛> [初段以下] 清水 徳子・正岡なぎさ 組 <愛媛>
第7回	昭和55年7月20日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 荒井 洋・椎屋 光男 組 <東京> [四段の部] 西川 忠邦・篠原 良一 組 <東京> [三段の部] 太田 安昭・田村 英路 組 <東京> [二段の部] 布施 広幸・永井 隆 組 <東京> [初段以下] 林 映子・浜野 圭子 組 <神奈川>
第8回	昭和56年7月26日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 岡本 義一・中村 達猪 組 <福岡> [四段の部] 江澤 義信・阿部 修 組 <東京> [三段の部] 釣賀 敏郎・藤崎 興朗 組 <東京> [二段の部] 矢野多衛子・林 映子 組 <神奈川> [初段以下] 草野知三良・佐藤 篤範 組 <東京>
第9回	昭和57年8月29日(日) 福岡武道館 (福岡県)	[五段の部] 江澤 義信・阿部 修 組 <東京> [四段の部] 古川 一雄・青木 良一 組 <東京> [三段の部] 有吉 潤哉・岡村 典昭 組 <福岡> [二段の部] 石井 俊治・日高 満弥 組 <福岡> [初段以下] 草野知三良・佐藤 篤範 組 <東京>

回数	期日・場所	第 一 位
第10回	昭和58年7月31日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 山口 薫・大竹 俊行 組 〈神奈川〉 [四段の部] 小塚 禮子・関山 修 組 〈神奈川〉 [三段の部] 林 映子・矢野多衛子 組 〈神奈川〉 [二段の部] 佐藤 篤範・菅原 清孝 組 〈東京〉 [初段の部] 薩川 璋子・新村 萬藏 組 〈福岡〉
第11回	昭和59年8月5日(日) 巢鴨学園ギムナシオン (東京都)	[五段の部] 阿部 修・江澤 義信 組 〈東京〉 [四段の部] 釣賀 敏郎・藤崎 興朗 組 〈東京〉 [三段の部] 岡村 典昭・波止 容子 組 〈福岡〉 [二段の部] 白井 清藏・馬場 好章 組 〈大阪〉 [初段の部] 仲田 博信・岩崎 光治 組 〈大阪〉
第12回	昭和60年8月4日(日) 三原市円一町 リージョンプラザ体育館 (広島県)	[五段の部] 中村 幸夫・森 恪 組 〈福岡〉 [四段の部] 林 映子・矢野多衛子 組 〈神奈川〉 [三段の部] 波止 容子・薩川 璋子 組 〈福岡〉 [二段の部] 中西 一孝・島原 義輝 組 〈福岡〉 [初段の部] 高浪進一郎・有吉 孝一 組 〈福岡〉
第13回	昭和61年8月3日(日) 大阪市立東淀川体育館 (大阪府)	[五段の部] 森本 訓史・田所 通子 組 〈大阪〉 [四段の部] 波止 容子・有吉 潤哉 組 〈福岡〉 [三段の部] 朱雀 道子・木村 栄子 組 〈福岡〉 [二段の部] 池永 和哉・苅谷 浩之 組 〈大阪〉 [初段の部] 笠谷 哲次・上永俊亥治 組 〈大阪〉
第14回	昭和62年8月2日(日) 静岡市中央体育館 (静岡県)	[五段の部] 太田 安昭・加藤 望 組 〈東京〉 [四段の部] 波止 容子・朱雀 道子 組 〈福岡〉 [三段の部] 藤原 敏成・力武 公平 組 〈東京〉 [二段の部] 谷口 法子・世古 俊之 組 〈大阪〉 [初段の部] 山本 裕樹・橋高 良和 組 〈大阪〉
第15回	昭和63年7月31日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[六段の部] 山口 薫・大竹 俊行 組 〈神奈川〉 [五段の部] 神之園文男・小塚 禮子 組 〈神奈川〉 [四段の部] 伊藤 晋次・朱雀 道子 組 〈福岡〉 [三段の部] 坂上 亨・笠谷 哲次 組 〈大阪〉 [二段の部] 矢ヶ部龍一郎・ボギキャンジョージ 組 〈福岡〉 [初段の部] 井上 真一・進藤 眞 組 〈大阪〉
第16回	平成元年8月6日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[六段の部] 山口 薫・大竹 俊行 組 〈神奈川〉 [五段の部] 草野知三良・阿出川篤範 組 〈東京〉 [四段の部] 亀井 伸一・中野 伊織 組 〈大阪〉 [三段の部] 濱口 誠蔵・上村 一郎 組 〈東京〉 [二段の部] 下野 一成・関根 進緑 組 〈東京〉 [初段の部] 下村 卓・岩渕 太美 組 〈東京〉
第17回	平成2年8月5日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[六段の部] 太田 安昭・篠原 良一 組 〈東京〉 [五段の部] 神之園文男・小塚 禮子 組 〈神奈川〉 [四段の部] 藤原 敏成・力武 公平 組 〈東京〉 [三段の部] 神代 昌明・矢ヶ部龍一郎 組 〈福岡〉 [二段の部] 菊谷 暁・福沢 功 組 〈東京〉 [初段の部] 花田 武・柴田 啓 組 〈福岡〉
第18回	平成3年8月4日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[六段の部] 小塚 禮子・神之園文男 組 〈神奈川〉 [五段の部] 藤原 敏成・力武 公平 組 〈東京〉 [四段の部] 高浪進一郎・矢ヶ部龍一郎 組 〈東京〉 [三段の部] 瀬戸 光司・時任 晴美 組 〈神奈川〉 [二段の部] 原田 三紀・荒槇 美和 組 〈広島〉 [初段の部] 疋田 修士・麻田 彰子 組 〈大阪〉

回数	期日・場所	第 一 位
第19回	平成4年8月2日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[六段の部] 太田 安昭・加藤 望 組 〈東京〉 [五段の部] 山口 道子・白井 清藏 組 〈神奈川〉 [四段の部] 関根 進緑・下野 一成 組 〈東京〉 [三段の部] 菊谷 暁・福沢 功 組 〈東京〉 [二段の部] 久田 孝博・堀米 俊明 組 〈神奈川〉 [初段の部] 藤沢 正樹・石田 敦 組 〈大阪〉
第20回	平成5年8月1日(日) 広島市東区 スポーツセンター (広島県)	[六段の部] 釣賀 敏郎・藤崎 興朗 組 〈東京〉 [五段の部] 山口 道子・白井 清藏 組 〈神奈川〉 [四段の部] 矢ヶ部龍一郎・松山 一之 組 〈福岡〉 [三段の部] 菊谷 暁・福沢 功 組 〈東京〉 [二段の部] 國方 孝之・宮脇 誠吾 組 〈広島〉 [初段の部] 小林 道弘・竹尾 祥充 組 〈広島〉
第21回	平成6年7月31日(日) 宮城県スポーツセンター (宮城県)	[六段の部] 林 映子・矢野多衛子 組 〈神奈川〉 [五段の部] 山口 道子・白井 清藏 組 〈神奈川〉 [四段の部] 時任 晴美・瀬戸 光司 組 〈神奈川〉 [三段の部] 宮脇 誠吾・原田 三紀 組 〈広島〉 [二段の部] 小山 則夫・梅沢 隆夫 組 〈東京〉 [初段の部] 小林 一規・小池スエ子 組 〈長野〉
第22回	平成7年10月8日(日) 福岡武道館 (福岡県)	[六段の部] 林 映子・矢野多衛子 組 〈神奈川〉 [五段の部] 鬼木 正道・古澤 裕二 組 〈福岡〉 [四段の部] 平原 喜孝・時任 晴美 組 〈神奈川〉 [三段の部] 三留さえ子・入江美智代 組 〈福岡〉 [優秀賞] 上野加代子・上田 敦子 組 〈東京〉 [二段の部] 辻辺 美紀・柿原 里志 組 〈広島〉 [優秀賞] 梅澤 隆夫・小山 則夫 組 〈東京〉 [初段の部] 小川内泰生・野口 藍 組 〈福岡〉 [優秀賞] 奥田 省三・島津加奈子 組 〈広島〉
第23回	平成8年10月6日(日) 南足柄市体育センター (神奈川県)	[七段の部] 神代 孝一・乙藤美津子 組 〈福岡〉 [六段の部] 和田日出光・岡村 典昭 組 〈東京〉 [五段の部] 鹿島 晃・坂上 亨 組 〈大阪〉 [四段の部] 下川 秀美・米田 廉 組 〈福岡〉 [三段の部] 宮脇 誠吾・國方 孝之 組 〈広島〉 [優秀賞] 五味 恭一・山田 善興 組 〈長野〉 [二段の部] 小林 一規・小池スエ子 組 〈長野〉 [優秀賞] 今井 敏喜・山田 昇 組 〈長野〉 [初段の部] 土亀 誠・世利 慎吾 組 〈福岡〉 [優秀賞] 宮川 富子・宮田 勝一 組 〈福岡〉
第24回	平成9年10月5日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[七段の部] 小塚 禮子・神之藺文男 組 〈神奈川〉 [六段の部] 林 映子・矢野多衛子 組 〈神奈川〉 [五段の部] 下野 一成・安田 嘉一 組 〈神奈川〉 [四段の部] 上田 睦也・持田 均 組 〈東京〉 [三段の部] 小林 一規・小池スエ子 組 〈長野〉 [優秀賞] 森井加代子・上田 敦子 組 〈東京〉 [二段の部] 森岡 勝昭・中川 陽介 組 〈大阪〉 [優秀賞] 高橋 伸・島津加奈子 組 〈広島〉 [初段の部] 永井 祥宏・清水 英男 組 〈東京〉 [優秀賞] 坂口 隆憲・野口 晋祐 組 〈福岡〉

回数	期日・場所	第 一 位
第25回	平成10年10月4日(日) 大阪市東淀川体育館 (大阪府)	<p>[七段の部] 山口 董・大竹 俊行 組 〈神奈川〉  [六段の部] 池原 一義・坂上 亨 組 〈大 阪〉  [五段の部] 下野 一成・時任 晴美 組 〈神奈川〉  [四段の部] 森井加代子・上田 敦子 組 〈東 京〉  [三段の部] 辻辺 美紀・井内 智美 組 〈広 島〉  [優秀賞] 高橋 伸・島津加奈子 組 〈広 島〉  [二段の部] 宮田 勝一・森岡 勝昭 組 〈大 阪〉  [優秀賞] 相原 健児・加藤 直也 組 〈神奈川〉  [初段の部] 市原 孝・高間真智子 組 〈神奈川〉  [優秀賞] 上野 二・高良 英臣 組 〈福 岡〉</p>
第26回	平成11年10月3日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	<p>[七段の部] 神之園文男・小塚 禮子 組 〈神奈川〉  [六段の部] 迫田 文博・クリスマンフィールド 組 〈神奈川〉  [五段の部] 庄司 正幸・工藤千代子 組 〈山 形〉  [四段の部] 津川 秀夫・ジョージアセヴェド 組 〈東 京〉  [三段の部] 齊藤 嘉教・岩本 光弘 組 〈東 京〉  [優秀賞] 高橋 伸・島津加奈子 組 〈広 島〉  [二段の部] 伊橋 淳子・末石 澄恵 組 〈福 岡〉  [優秀賞] 矢野 卓慈・花ノ井一弥 組 〈東 京〉  [初段の部] 伊橋 慶・杵島 勉 組 〈福 岡〉  [優秀賞] 樋渡 賢太・関 展秀 組 〈東 京〉</p>
第27回	平成12年10月8日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	<p>[七段の部] 福田 博文・神代 孝一 組 〈福 岡〉  [六段の部] 近藤眞佐雄・坂上 亨 組 〈大 阪〉  [五段の部] 入江美智代・橋口 秀雄 組 〈福 岡〉  [四段の部] 森井加代子・上田 敦子 組 〈東 京〉  [三段の部] 宗像 純子・住吉美代子 組 〈北海道〉  [優秀賞] 沼田 範行・古野 耕一 組 〈北海道〉  [二段の部] 豊田 泰生・山岸 啓哉 組 〈東 京〉  [優秀賞] 松下 俊夫・関 展秀 組 〈東 京〉  [初段の部] 渡辺 直人・大野 寿子 組 〈東 京〉  [優秀賞] 中村 敬介・松谷 利信 組 〈福 岡〉</p>
第28回	平成13年10月7日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	<p>[七段の部] 矢野多衛子・林 映子 組 〈神奈川〉  [六段の部] 白井 清藏・鬼木 正道 組 〈福 岡〉  [五段の部] 時任 晴美・下野 一成 組 〈神奈川〉  [四段の部] 森井加代子・上田 敦子 組 〈東 京〉  [三段の部] 伊橋 淳子・末石 澄恵 組 〈福 岡〉  [優秀賞] 沼田 範行・古野 耕一 組 〈東 京〉  [二段の部] 高橋 英士・水原 基晶 組 〈広 島〉  [優秀賞] 小野 敦・小野寺 愛 組 〈埼 玉〉  [初段の部] 大庭 正考・久家 秀宜 組 〈福 岡〉  [優秀賞] 鹿江 由紀・坂口 研一 組 〈福 岡〉</p>
第29回	平成14年10月6日(日) 北海道立総合体育センター (北海道)	<p>[七段の部] 福田 博文・神代 孝一 組 〈福 岡〉  [六段の部] 天野 宏宣・上田花代子 組 〈埼 玉〉  [五段の部] 森井加代子・上田 敦子 組 〈東 京〉  [四段の部] 宗像 純子・住吉美代子 組 〈北海道〉  [三段の部] 古野 耕一・成田 重信 組 〈北海道〉  [優秀賞] 永井 祥宏・内山 隆太 組 〈東 京〉  [二段の部] 藤原 早苗・清水 隆樹 組 〈北海道〉  [優秀賞] 井上 廣己・那須 勉 組 〈北海道〉  [初段の部] 堺 彪・橋口 弘美 組 〈福 岡〉  [優秀賞] 小寺 基・西田真由美 組 〈北海道〉</p>

回数	期日・場所	第 一 位
第30回	平成15年10月12日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[七段の部] 釣賀 敏郎・藤崎 興朗 組 〈東京〉 [六段の部] 白井 清藏・鬼木 正道 組 〈福岡〉 [五段の部] 時任 晴美・赤木 孝子 組 〈神奈川〉 [四段の部] 橋本 幸士・矢羽田 直 組 〈福岡〉 [三段の部] 伊橋 慶・伊橋 淳子 組 〈福岡〉 [優秀賞] 木樽 孝・佐野 弘和 組 〈神奈川〉 [二段の部] 清水 隆樹・大橋 信彦 組 〈北海道〉 [優秀賞] 塩田 悟士・柴野 和人 組 〈北海道〉 [初段の部] 川越麻奈帆・小道 有紗 組 〈広島〉 [優秀賞] 松丸 絹枝・ジョコ・プリヤント 組 〈福岡〉
第31回	平成16年10月3日(日) 愛媛県武道館 (愛媛県)	[七段の部] 安野 裕子・岡部 盛重 組 〈愛媛〉 [六段の部] 下野 一成・時任 晴美 組 〈神奈川〉 [五段の部] 下川 秀美・米田 廉 組 〈福岡〉 [四段の部] 宮田 勝一・足立 隆宏 組 〈北海道〉 [三段の部] 小家 隆博・鹿江 由紀 組 〈福岡〉 [優秀賞] 久家 秀宣・伊橋 慶 組 〈福岡〉 [二段の部] 石田 博美・住本俊一郎 組 〈鹿児島〉 [優秀賞] 岩田みどり・神之蘭知香 組 〈神奈川〉 [初段の部] 藤原 淳・玉田 治三 組 〈愛媛〉 [優秀賞] 松岡 耕毅・千葉由美子 組 〈北海道〉
第32回	平成17年10月2日(日) 宮城県スポーツセンター (宮城県)	[七段の部] 福田 博文・森 恪 組 〈福岡〉 [六段の部] 下野 一成・時任 晴美 組 〈神奈川〉 [五段の部] 宮脇 誠吾・宮脇加奈子 組 〈広島〉 [四段の部] 宮田 勝一・古野 耕一 組 〈北海道〉 [三段の部] 鹿江 由紀・橋口 弘美 組 〈福岡〉 [優秀賞] 大庭 正考・久家 秀宣 組 〈福岡〉 [二段の部] 石田 博美・住本俊一郎 組 〈鹿児島〉 [優秀賞] 岩田みどり・岩田 高明 組 〈神奈川〉 [初段の部] 伊藤 稔・千葉 忠侑 組 〈北海道〉 [優秀賞] 横川 賀代・横川 生敏 組 〈愛媛〉
第33回	平成18年10月8日(日) 江戸川区スポーツセンター (東京都)	[七段の部] 神之蘭文男・安田 嘉一 組 〈神奈川〉 [六段の部] 時任 晴美・下野 一成 組 〈神奈川〉 [五段の部] 齋藤 嘉教・岩本 光弘 組 〈神奈川〉 [四段の部] 瀬川 洋平・小家 隆博 組 〈福岡〉 [三段の部] 石田 博美・住本俊一郎 組 〈鹿児島〉 [優秀賞] 高嶋 由紀・橋口 弘美 組 〈福岡〉 [二段の部] 松尾 静香・池崎 寿美 組 〈福岡〉 [優秀賞] 丸山 貴弘・中村美代子 組 〈東京〉 [初段の部] 伊藤 稔・浅井 康孝 組 〈北海道〉 [優秀賞] 佐倉 康隆・谷口 裕基 組 〈広島〉
第34回	平成19年10月7日(日) 福岡市民体育館 (福岡県)	[七段の部] 釣賀 敏郎・藤崎 興朗 組 〈東京〉 [六段の部] 時任 晴美・下野 一成 組 〈神奈川〉 [五段の部] 宮田 勝一・宗像 純子 組 〈北海道〉 [四段の部] 伊橋 慶・伊橋 淳子 組 〈福岡〉 [三段の部] 松本 葉子・狐塚 理沙 組 〈宮城〉 [優秀賞] 西原 正人・玉田 治三 組 〈愛媛〉 [二段の部] 出渕 靖志・亀井 洋祐 組 〈兵庫〉 [優秀賞] 山口 宣信・小寺 夏美 組 〈北海道〉 [初段の部] 谷口 桃子・堀江 亮介 組 〈広島〉 [優秀賞] 古賀 重治・大塚 睦男 組 〈福岡〉

回数	期日・場所	第 一 位
第35回	平成20年10月19日(日) 巣鴨学園ギムナシオン (東京都)	[七段の部] 河崎 清二・白石 武志 組 〈愛 媛〉 [六段の部] 久田 孝博・平原 喜孝 組 〈神奈川〉 [五段の部] 住吉美代子・宗像 純子 組 〈北海道〉 [四段の部] 増淵 徳造・関 展秀 組 〈茨 城〉 [三段の部] 上村 崇幸・原田 大 組 〈奈 良〉 [優 秀 賞] 藤田潤三郎・藤田ほずみ 組 〈大 阪〉 [二段の部] 浅井 康孝・柴田佳菜子 組 〈北海道〉 [優 秀 賞] 佐倉 康隆・谷口 裕基 組 〈広 島〉 [初段の部] 田村 浩志・三戸部良太 組 〈北海道〉 [優 秀 賞] 古賀 悠紀・佐古 勝久 組 〈兵 庫〉
第36回	平成21年10月18日(日) 横須賀アリーナ (神奈川県)	[七段の部] 河崎 清二・白石 武志 組 〈愛 媛〉 [六段の部] 工藤千代子・村田 幹子 組 〈山 形〉 [五段の部] 住吉美代子・宗像 純子 組 〈北海道〉 [四段の部] 増淵 徳造・関 展秀 組 〈茨 城〉 [三段の部] 横川 生敏・横川 賀代 組 〈高 知〉 [優 秀 賞] 佐倉 康隆・谷口 裕基 組 〈広 島〉 [二段の部] 小川内泰生・磯野美佐緒 組 〈福 岡〉 [優 秀 賞] 古賀 重治・宮原 芳樹 組 〈福 岡〉 [初段の部] 三戸部良太・猿川 剛史 組 〈北海道〉 [優 秀 賞] 高木 誠・細沼 哲也 組 〈北海道〉
第37回	平成22年10月17日(日) 東京武道館 (東京都)	[七段の部] 小林 光雄・安田 嘉一 組 〈神奈川〉 [六段の部] 岩本 光弘・久田 孝博 組 〈神奈川〉 [五段の部] 沼田 範之・古野 耕一 組 〈北海道〉 [四段の部] 高嶋 由紀・橋口 弘美 組 〈福 岡〉 [三段の部] 老松 克博・老松美由紀 組 〈大 阪〉 [優 秀 賞] 小川内泰生・磯野美佐緒 組 〈福 岡〉 [二段の部] 白神 義弘・宮田 遼平 組 〈大 阪〉 [優 秀 賞] 田村 浩志・猿川 剛史 組 〈北海道〉 [初段の部] 高井 宏行・秦 葉奈子 組 〈北海道〉 [優 秀 賞] 尾原 竜生・廣畑 翔太 組 〈広 島〉
第38回	平成23年10月16日(日) 舞洲アリーナ (大阪府)	[七段の部] 矢野多衛子・林 映子 組 〈神奈川〉 [六段の部] 白井 清藏・鬼木 正道 組 〈福 岡〉 [五段の部] 時任 晴美・下野 一成 組 〈神奈川〉 [四段の部] 森井加代子・上田 敦子 組 〈東 京〉 [三段の部] 伊橋 淳子・末石 澄恵 組 〈福 岡〉 [優 秀 賞] 沼田 範行・古野 耕一 組 〈東 京〉 [二段の部] 高橋 英士・水原 基晶 組 〈広 島〉 [優 秀 賞] 小野 敦・小野 寺愛 組 〈埼 玉〉 [初段の部] 大庭 正考・久家 秀宜 組 〈福 岡〉 [優 秀 賞] 鹿江 由紀・坂口 研一 組 〈福 岡〉
第39回	平成24年10月14日(日) 広島県立総合体育館 (広島県)	[七段の部] 村上 直隆・村上 和繁 組 〈宮 城〉 [六段の部] 古野 耕一・足立 隆宏 組 〈北海道〉 [五段の部] 菊永 隆博・上出 都 組 〈北海道〉 [四段の部] 伊藤 稔・浅井 康孝 組 〈北海道〉 [三段の部] 佐々木浩史・神鷹 良 組 〈宮 城〉 [優 秀 賞] 鈴森 友真・今仲 春菜 組 〈兵 庫〉 [二段の部] 秦 葉奈子・高井 宏行 組 〈北海道〉 [優 秀 賞] 高木 誠・細沼 哲也 組 〈北海道〉 [初段の部] 高橋 駿介・秋山 公良 組 〈東 京〉 [優 秀 賞] 佐々木 通・濱田 靖隆 組 〈奈 良〉

回数	期日・場所	第 一 位
第40回	平成25年10月6日(日) 北海道立総合センター (北海道)	[七段の部] 工藤千代子・村田 幹子 組 〈山 形〉 [六段の部] 古野 耕一・足立 隆宏 組 〈北海道〉 [五段の部] 村上 宜央・狐塚 理沙 組 〈宮 城〉 [四段の部] 荒木 正亨・磯野美佐緒 組 〈福 岡〉 [三段の部] 鈴森 友真・今仲 春菜 組 〈兵 庫〉 [優秀賞] 高木 誠・細沼 哲也 組 〈北海道〉 [二段の部] 石井 利明・山本 直人 組 〈北海道〉 [優秀賞] 高木万里子・名野 まい 組 〈北海道〉 [初段の部] 中津留匠平・入沼 高史 組 〈兵 庫〉 [優秀賞] 佐々木壮太・本間 正彦 組 〈北海道〉
第41回	平成26年10月5日(日) 巣鴨学園ギムナシオン (東京都)	[七段の部] 工藤千代子・村田 幹子 組 〈山 形〉 [六段の部] 佐野 弘和・石田ゆき子 組 〈神奈川〉 [五段の部] 村上 宜央・狐塚 理沙 組 〈宮 城〉 [四段の部] 佐々木浩史・神鷹 良 組 〈宮 城〉 [三段の部] 森島 康次・久田 真介 組 〈神奈川〉 [優秀賞] 高井 宏行・三戸部良太 組 〈北海道〉 [二段の部] 河原 実保・森崎 遼 組 〈広 島〉 [優秀賞] 高木万里子・名野 まい 組 〈北海道〉 [初段の部] 安陪龍太郎・矢野 梓葉 組 〈東 京〉 [優秀賞] 柿本由貴美・高倉 千聖 組 〈福 岡〉
第42回	平成27年10月11日(日) 神戸市立中央体育館 (兵庫県)	[七段の部] 宮脇 誠吾・小林 利吉 組 〈広 島〉 [六段の部] 古野 耕一・菊永 隆博 組 〈北海道〉 [五段の部] 上出 都・野澤 草太 組 〈北海道〉 [四段の部] ルーシーアーリ清水 裕子 組 〈神奈川〉 [三段の部] 森島 康文・矢崎 貴紀 組 〈神奈川〉 [優秀賞] 土屋 智和・佐々木 隆 組 〈神奈川〉 [二段の部] 入村 高史・中津留匠平 組 〈兵 庫〉 [優秀賞] 逆井 拓海・三步 拓 組 〈東 京〉 [初段の部] 見留 勝義・堀 義典 組 〈神奈川〉 [優秀賞] 中村 元哉・廣瀬 時 組 〈兵 庫〉
第43回	平成28年10月16日(日) 岡山県体育館 (岡山県)	[七段の部] 矢ヶ部龍一郎・鬼木 正道 組 〈福 岡〉 [六段の部] 青木はるみ・高間真智子 組 〈神奈川〉 [五段の部] 野澤 草太・伊藤 稔 組 〈北海道〉 [四段の部] 高井 宏行・三戸部良太 組 〈北海道〉 [三段の部] 廣岡 猛男・廣岡 琴子 組 〈神奈川〉 [優秀賞] 土屋 智和・佐々木 隆 組 〈神奈川〉 [二段の部] 藤本 健一・稲吉 伸幸 組 〈福 岡〉 [優秀賞] 安部 祐樹・安部 保美 組 〈宮 城〉 [初段の部] 高島 三景・小山 苑佳 組 〈兵 庫〉 [優秀賞] 下村美那子・木部 彩乃 組 〈北海道〉
第44回	平成29年10月8日(日) 東京武道館 (東京都)	[七段の部] 小林 利吉・高橋 伸 組 〈広 島〉 [六段の部] 佐野 弘和・石田ゆき子 組 〈神奈川〉 [五段の部] 野澤 草太・伊藤 稔 組 〈北海道〉 [四段の部] 浅井 康孝・細沼 哲也 組 〈北海道〉 [三段の部] 高木万里子・山本 直人 組 〈北海道〉 [優秀賞] 下田 正信・櫻井 千恵 組 〈東 京〉 [二段の部] 澤 博史・尾崎 凌介 組 〈広 島〉 [優秀賞] 中村 元哉・廣瀬 時 組 〈兵 庫〉 [初段の部] 小西 莉愛・村中 志優 組 〈北海道〉 [優秀賞] 久末 佳・阿部 将大 組 〈北海道〉

回数	期日・場所	第 一 位
第45回	平成30年10月14日(日) 久留米総合 スポーツセンター (福岡県)	[七段の部] 高橋 伸・宮脇 誠吾 組 〈広島〉 [六段の部] 村上 宜央・狐塚 理沙 組 〈宮城〉 [五段の部] 森野 寛・西原 正人 組 〈愛媛〉 [四段の部] 細沼 哲也・高木 誠 組 〈北海道〉 [三段の部] 古野 聖児・山本 直人 組 〈北海道〉 [優秀賞] 安藤 光佑・中村 元哉 組 〈兵庫〉 [二段の部] 下村美那子・阿部 翔大 組 〈北海道〉 [優秀賞] 青木 多聞・古谷 耀 組 〈東京〉 [初段の部] 村中 志優・竹内 奈帆 組 〈北海道〉 [優秀賞] 青山 玲乃・勝亦 恵未 組 〈北海道〉
第46回	令和元年10月13日(日) 横須賀アリーナ (神奈川県)	台風19号の為開催中止
第47回	令和2年10月11日(日) 埼玉県立武道館 (埼玉県)	新型コロナウイルス感染症拡大の為中止
第48回	令和3年10月17日(日) 中村スポーツセンター (愛知県)	[七段の部] ・ 組 〈 〉 [六段の部] ・ 組 〈 〉 [五段の部] ・ 組 〈 〉 [四段の部] ・ 組 〈 〉 [三段の部] ・ 組 〈 〉 [優秀賞] ・ 組 〈 〉 [二段の部] ・ 組 〈 〉 [優秀賞] ・ 組 〈 〉 [初段の部] ・ 組 〈 〉 [優秀賞] ・ 組 〈 〉

# 全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和3年7月5日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL03(3211)5804	FAX(3211)5807
会長 稲川 泰弘	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL03(3234)6271	FAX(3234)6007
地方代表団体	会長	〒	事務局所在地	電話	FAX
(一財)北海道剣道連盟	藤井 稔	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662-1663	(820)1662-1663
青森県	増田 知幸	030-0903	青森市栄町1-7-8	017(764)0340	(764)0340
秋田県	目黒 大作	010-0914	秋田市保戸野千代田町14-12 SAKAEビル2F B室	018(883)0680	(883)0663
山形県	安部 美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県	小笠原 宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20 (一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県	長谷川 弘一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県	小倉 培夫	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県	山中 茂樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県	忍 足功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県	小林 英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県	渡邊 宏一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県	浅原 行雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイソ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県	牧田 稔	939-8076	富山市太郎丸2区77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮 1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県	加瀬 浩明	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県	吉村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県	岡田 一義	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府	長 榮周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県	河野 修一郎	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイソ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県	山本 晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県	林 正夫	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	0852(27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県	渡邊 三則	780-0026	高知市秦南町1-5-12 恒石章彦方	088(871)5184	(871)5184
徳島県	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
佐賀県	江島 良介	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県	松尾 博行	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県	安部 正定	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県	俣木 正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

## 全剣連発行の頒布物一覧

令和3年9月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック(第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
居合道における日本刀及び模擬刀の取扱要領	¥400	106	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道学科審査の問題例と解答例(初段～五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法 DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
竹刀・剣道の発展を支えた竹刀の歩み DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,200	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,200	13	16
剣道人バッジ大タック	¥1,600	14	16
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	4600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ エンジ(S,M,L,LL)	¥2,500	170	20
ぶししTシャツ 白(S,M,L,LL)	¥2,500	263	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

※品物はすべて消費税込みとなります。

※全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

## 『購入申し込み方法』

(1)インターネットからのお申し込み … <https://zenkenren-shop.com>

(2)FAXでのお申し込み …… 心力舎企画株式会社 **03-3451-6905** へFAXして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅配便 … 送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便 … (この場合、代金引換はご利用いただけません。)

**全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。**

※オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

全日本剣道連盟 広報誌

# 月刊 剣窓

## —— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

### 主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

### お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

### お問い合わせ

## 全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

私たちは《剣道》を応援しています

